

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、輸出や生産は、一部に持ち直しの動きがあるものの、海外経済減速などの影響から足踏み状態となっている。

企業収益が悪化しているなか、設備投資は弱めの動きがみられる。雇用が徐々に改善するも、個人消費は緩やかに持ち直している。

先行きについては、電力の供給制約、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年6月29日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

生産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

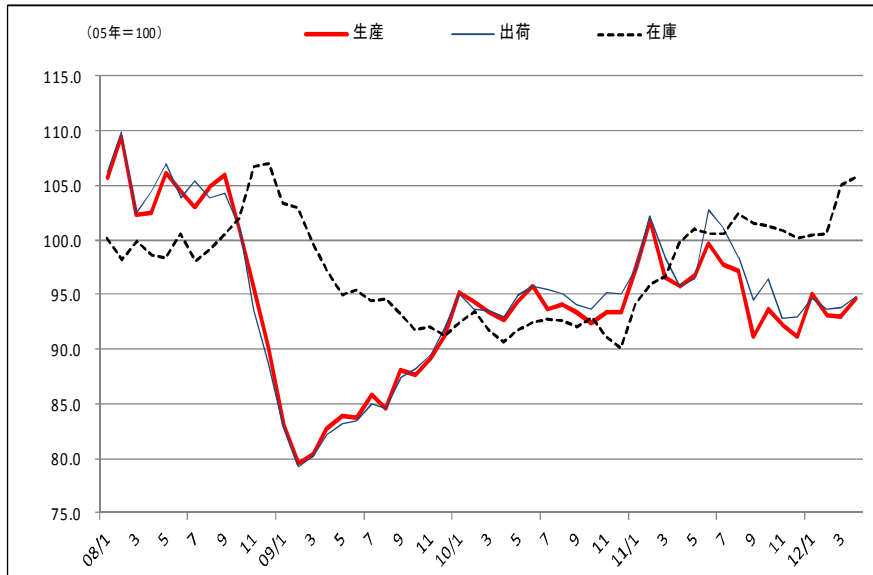
輸出入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

個人消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

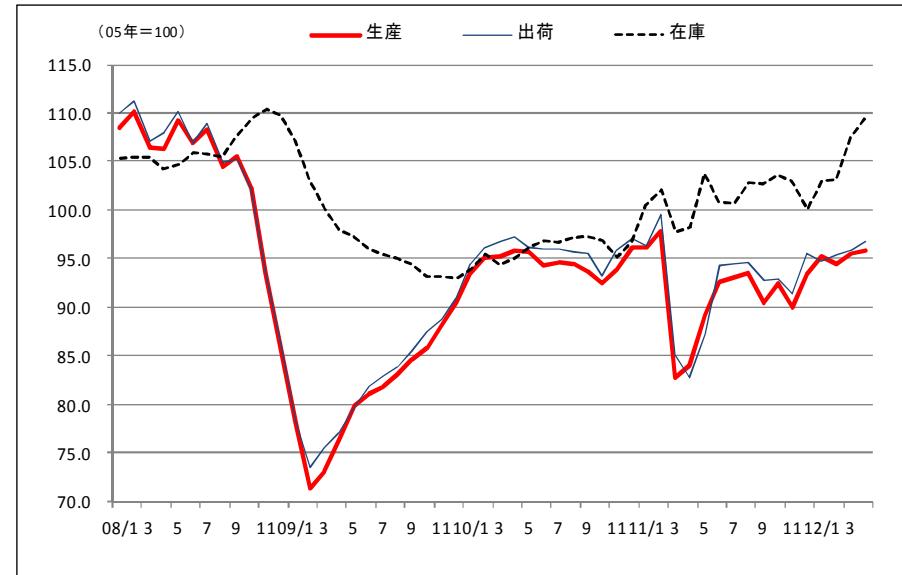
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年4月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年4月確報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業
生産指数
(前月比、%)

* 網掛は、生産が
前月比プラスの業種

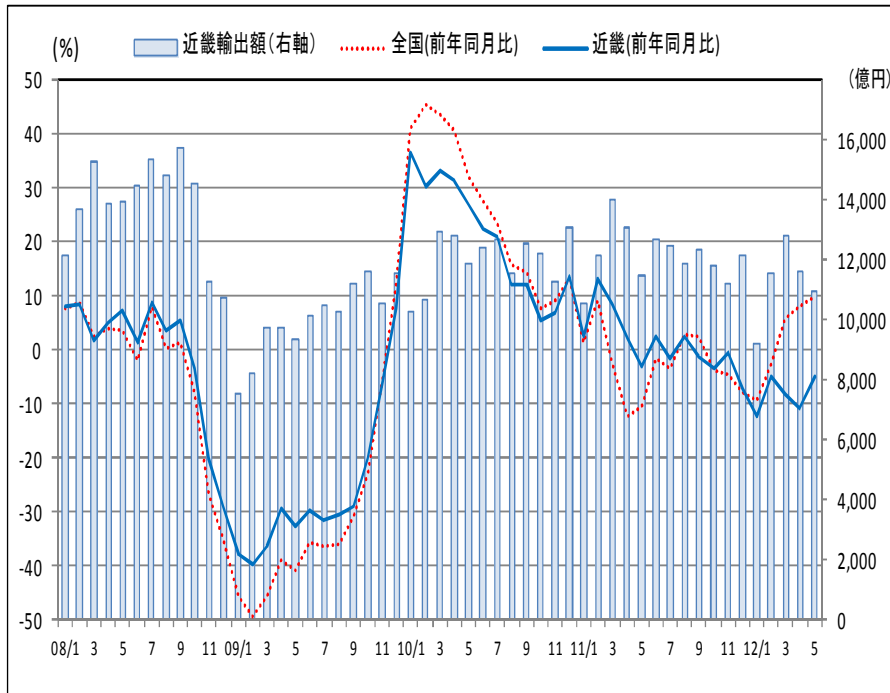
	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿2月	▲ 2.1	2.4	▲ 3.6	▲ 7.6	▲ 1.6	30.4	9.7	▲ 4.7	▲ 3.1	▲ 0.6
近畿3月	▲ 0.9	1.8	0.9	▲ 5.4	1.6	▲ 22.6	▲ 10.8	1.4	0.2	3.0
近畿4月	▲ 1.3	▲ 4.2	3.0	▲ 5.2	▲ 9.7	11.8	▲ 26.0	51.5	7.6	▲ 4.8
全国4月	▲ 0.2	▲ 1.7	3.3	0.1	3.9	▲ 19.3	▲ 7.9	6.1	1.2	▲ 5.7

・ 近畿の4月（速報）の鉱工業生産指数は、94.6。前月比+1.7%と2カ月連続のプラス。総じて見れば、生産は持ち直しの兆し。
 出荷は前月比+1.0%の94.7と、2カ月連続の上昇。在庫は、前月比+0.6%の105.7と2カ月連続の上昇。
 業種別にみると、金属製品工業、化学工業(除.医薬品)、その他工業などが上昇に寄与。
 品目別にみると、ガスタービン、鉄骨、化粧品の生産が上昇。

・ 全国の4月（確報）の鉱工業生産指数は、95.4。前月比▲0.2%と2カ月ぶりの低下。総じて見れば、生産は持ち直しの動き。
 出荷は、前月比+0.9%の95.8と2カ月連続の上昇。在庫は、前月比+2.0%の109.6と2カ月連続の上昇。
 業種別では、電子部品等などが上昇に寄与。
 製造工業生産予測調査によると、5月は低下、6月は上昇を予測している。

～輸出入～

輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年5月まで）

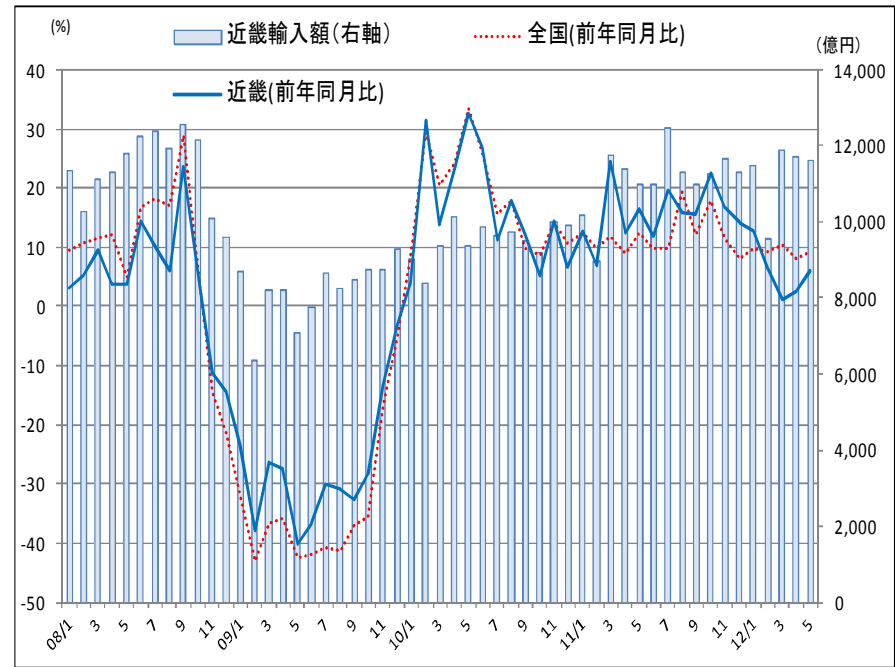


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

○近畿の月次の輸出動向（2012年5月まで）

- ・5月の近畿の輸出額は1兆949億円、前年同月比▲4.8%。9カ月連続の前年同月比マイナス。
- ・地域別では、アジア向けが前年同月比▲4.7%と8カ月連続のマイナス。うち中国向けは同▲5.5%と6カ月連続のマイナス。EU向けは同▲17.6%と10カ月連続のマイナス、米国向けは同+13.5%と2カ月連続のプラス。
- ・半導体等電子部品（中国向）、船舶（マーシャル向）等が減少。
- ・全国の5月の輸出額は5兆2,347億円、前年同月比+10.0%と、前年の反動から関西を上回る伸びとなっている。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年5月まで）

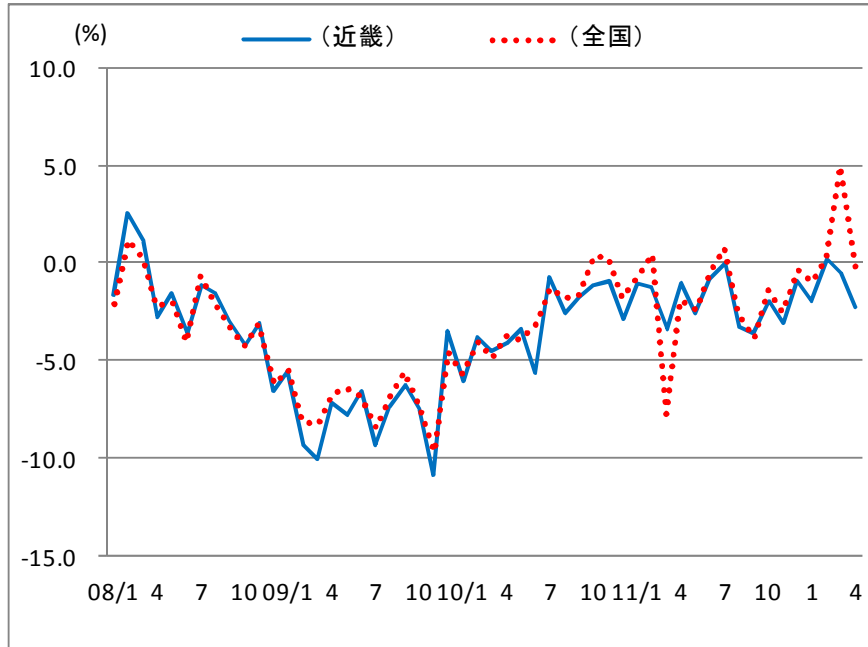


○近畿の月次の輸入動向（2012年5月まで）

- ・5月の近畿の輸入額は1兆1,633億円、前年同月比+6.1%と29カ月連続のプラス。
- ・原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、石炭、携帯電話等の通信機が5月として過去最高額。
- ・地域別では、対アジアが前年同月比▲4.7%と8カ月連続のマイナス。アジアのうち対中国が同▲5.5%と6ヶ月連続のマイナス。対米国が同+13.5%と2カ月連続のプラス。対EUは同▲17.6%と10カ月連続のマイナス。
- ・全国の輸入額は6兆1,420億円、前年同月比+9.3%と29カ月連続のプラス。

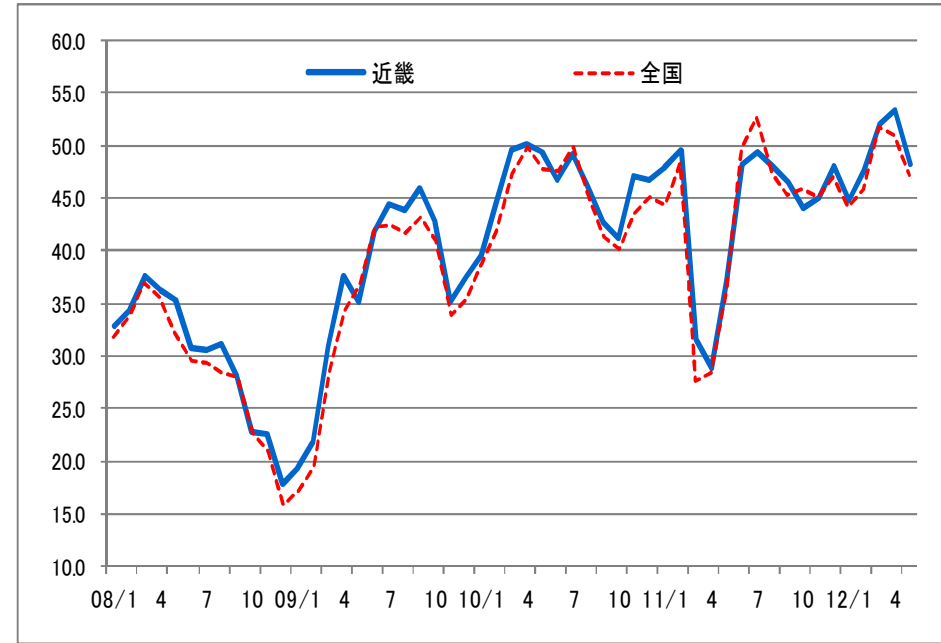
～個人消費～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年4月まで）



（出所）近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査（現状判断DI・方向性 2012年5月まで）



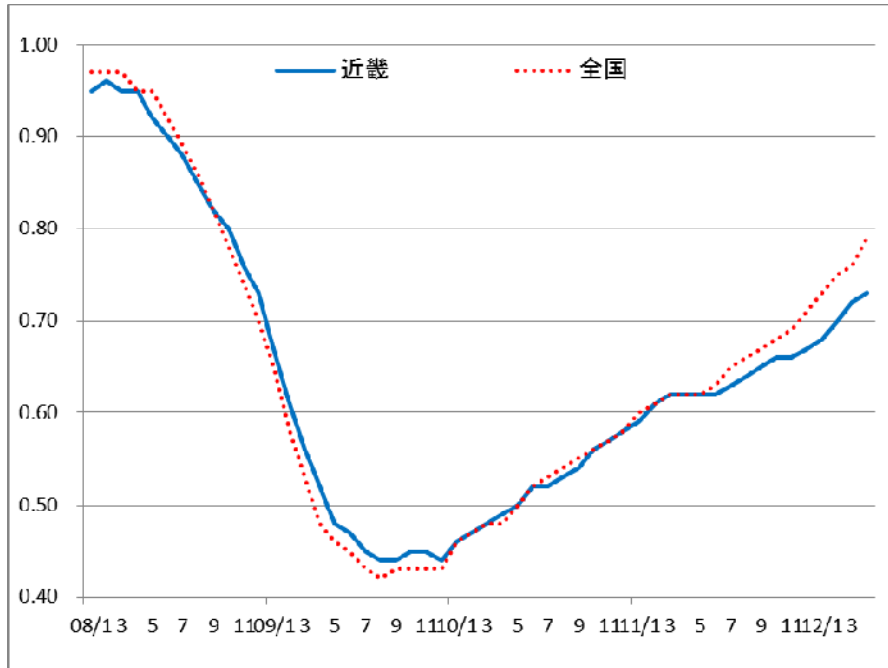
（出所）内閣府

- ・ 近畿の4月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲2.3%と2カ月連続のマイナス。
- ・ スーパーは同▲2.9%と41カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同+1.5%と、3カ月連続のマイナス。
- ・ 気温の上昇に伴い、春物衣料に加え、クールビズ関連商品が好調だったものの、食料品、家具・家電等が減少。
- ・ 全国の4月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同▲0.5% 2カ月連続のマイナス。

- ・ 5月の近畿の現状判断DIは前月比▲5.1ポイントの48.2と、4カ月ぶりの下降。ゴールデンウィーク以降の消費の動きが鈍いことなどから、全体的に悪化につながった。
- ・ 全国の5月の現状判断DIは前月比▲3.7ポイントの47.2。
- ・ 近畿の5月の先行き判断DIは前月比▲4.3ポイントの46.9と、3カ月ぶりの低下。節電期間が始まることへの懸念が広がっていることが影響していると見られる。
- ・ 全国の先行き判断DIは同▲2.8ポイントの48.1。

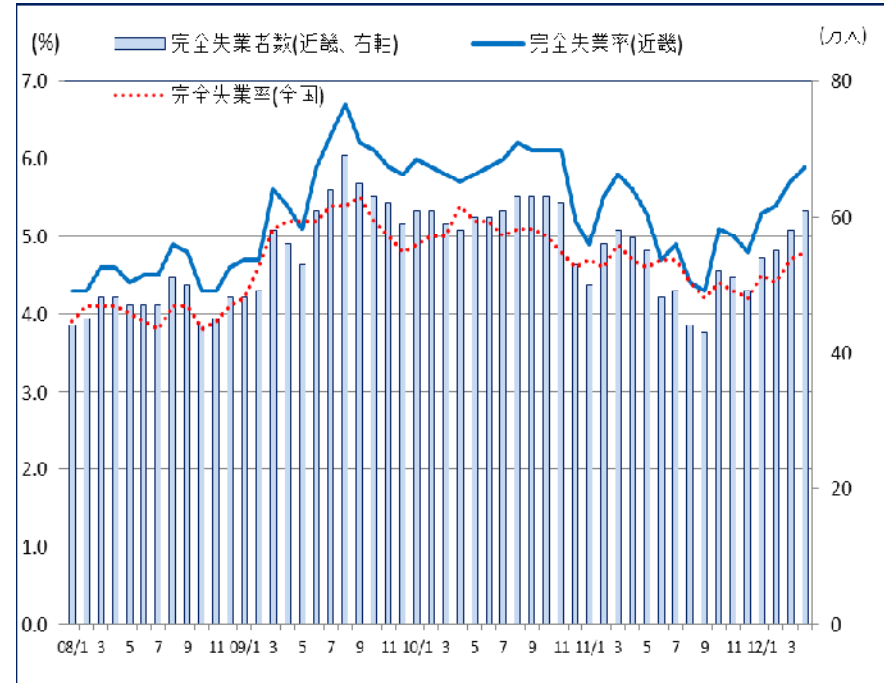
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年4月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年4月まで）



(出所) 総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率（2012年4月）

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
3月	0.76	0.54	0.79	0.75	0.80	0.92	0.97	0.72	0.91	0.85	0.63
4月	0.79	0.58	0.87	0.77	0.83	0.93	1.03	0.73	0.93	0.85	0.65

・2012年4月の近畿の有効求人倍率は0.73倍、前月比+0.01ポイントと4カ月連続の改善。

- ・全国は0.79倍で、前月比+0.03ポイントの改善。
- ・地域別の前月比では、東北のみが低下。

- ・4月の近畿の完全失業率（原数値）は5.9%。前月比+0.2ポイントの悪化。
前年同月比では+0.3ポイントの改善。
- ・3カ月連続で悪化。夏に向かったの電力不足が解消されていないことが影響していると考えられる。
- ・4月の全国の完全失業率（原数値）は4.8%、前月から+0.1ポイントの悪化。
- ・4月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.6%、前月より+0.1ポイントの悪化。